

創業以来120年受け継ぐ「食のしあわせ」 長期ビジョンから見据える進化

ブルドックソース株式会社

ブルドックソース株式会社の創業は1902(明治35)年。「幸福感を味わえる商品の提供」を経営理念に、人々の「食の幸せ」に寄り添い、国内ソース市場のリーディング・カンパニーとして安全・安心を提供し続けています。同社では、食品業界の環境変化に対応し、成長を続けるための戦略としての長期ビジョン「Bull-Dog Global Innovation 2032」を掲げ、世界的ブランドを目指す中で、循環型社会の実現に向けた商品の開発・設計・見直しを積極的に進んできました。

国内トップメーカーから世界ブランドへ 新たな定番に挑戦する

ブルドックソースがリニューアル容器の開発に着手したのは、2018年。それまで使用されてきた四角い容器は、50年以上もの間、国民的に慣れ親しまれてきた商品です。ブルドックソースを象徴するブランド・アイデンティティとも言える容器のリニューアルは、当然ながら並大抵のことではなく、設備投資にかかるコスト面からも、当初は社内での反発もありました。しかし「Bull-Dog Global Innovation 2032」で掲げた世界ブランドとしての成長に向けて、資源循環の推進は不可欠であり、避けることのできない挑戦でした。

「ひとにも、環境にもやさしく」をコンセプトに、2020年には最有力候補となる容器が誕生。その後の開発では、使いやすさと強度は相反するという課題に直面し、硬すぎず、柔らかすぎない絶妙な使用感を念頭に研究を重ねました。また、開発スタッフ以外の社員を対象に、容器を自宅に持ち帰ってもらい、より消費者に近い観点からワンプッシュでの液量調整や液ダレ・液汚れの防止策などで、調査協力を得ました。さらに、一般のお客様にもご協力をいただき、使用感調査も経て、ようやく完成へと至りました。

そして2023年9月、新容器での商品販売が開始されました。「ワンウェイプラスチック使用量削減2025年度目標15%」を見据え、再生PET樹脂を利用。家庭用ソースカテゴリーの売上を牽引する定番ソース3種の300ml、500mlの2タイプで「PETボトルリサイクル推奨マーク」を登録しました。また、



容器開発に携わった中尾氏



再生PET樹脂を利用する
定番ソース3種の500mlタイプ

プラスチック使用量を20%削減している点で、リデュースにも繋がっています。

形状は上部が円筒型、下部が四角となっており、ブランドイメージとして従来の容器(四角)をオマージュしたデザインとなっています。開けやすく、持ちやすく、使いやすく。ブルドックソースの企業スローガン「食の幸せのとなりに」を象徴するかたちとして、ブルドックソースブランドの新たなアイデンティティとなることを目指しています。

自主基準による目標を定め リサイクルシステムを構築

現在も引き続き、容器の開発にはこだわりを持って取り組んでいます。ラベルはまだ再生材ではありませんが、ミシン目の入ったシュリンクラベルにすることで剥がしやすく、廃棄する際の分別がしやすくなっています。また、印刷にはバイオマスインキを使用して、環境配慮に対応しています。

今後の課題として挙げられるのは、ソースはノンオイルながら容器に匂いが残る場合が多く、リサイクルの観点から、分別がPETではなく、その他プラスチックの扱いになってしまっている点です。ソース容器をPETとして分別区分して活用するには、リサイクル工程で匂いを取り除く技術が必要であると考えています。

また、今後はリサイクルに関連した社内教育や、未来を担う子どもたちへの啓発活動にも力を入れていきたいと思っています。そしてより一層、環境への配慮を深め、食を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(取材日:2026年3月11日)

商品企画部 課長 松嶋 麻由子
主任 中尾 真之
経営企画室 課長 小林 方子
主事 佐藤 聡子

ブルドックソース株式会社

本社：東京都中央区日本橋兜町11-5
創業：1902(明治35)年
設立：1926(大正15)年
従業員数：214名(2025年3月末時点)
URL：<https://www.bulldog.co.jp>